

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を適用している。

1) 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 満期保有目的の債券・・・該当するものはない。

(2) 満期保有目的の債券以外の有価証券

①時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。

2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	110,547,960	187,316,281	0	297,864,241
定期預金	200,000,000	0	0	200,000,000
投資有価証券	4,286,754,736	1,240,480,506	839,471,994	4,687,763,248
基本財産計	4,597,302,696	1,427,796,787	839,471,994	5,185,627,489
特定資産				
学術研究奨励基金	259,586,667	14,357,500	6,375,000	267,569,167
特定資産計	259,586,667	14,357,500	6,375,000	267,569,167
合計	4,856,889,363	1,442,154,287	845,846,994	5,453,196,656

(注1) 基本財産のうち普通預金の当期増加額は、

味の素株式売却代金のうち株式・公社債等の取得に充てなかった金額である。

(注2) 基本財産のうち投資有価証券の当期増加額は、

味の素株式売却代金をもって取得した株式・公社債等の取得額698,413,956円及び投資有価証券評価益542,066,550円である。

(注3) 基本財産のうち投資有価証券の当期減少額は、

基本財産であった味の素株式等の有価証券の売却簿価 782,510,336円及び投資有価証券評価損56,961,658円である。

(注4) 特定資産のうち学術研究奨励基金の当期増加額は、特定資産評価益である。

(注5) 特定資産のうち学術研究奨励基金の当期減少額は、特定資産評価損である

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	297,864,241	(297,864,241)	(0)	(0)
定期預金	200,000,000	(200,000,000)	(0)	(0)
投資有価証券	4,687,763,248	(4,687,763,248)	(0)	(0)
小計	5,185,627,489	(5,185,627,489)	(0)	(0)
特定資産				
学術研究奨励基金	267,569,167	(267,569,167)	(0)	(0)
小計	267,569,167	(267,569,167)	(0)	(0)
合計	5,453,196,656	(5,453,196,656)	(0)	(0)

4 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである

(単位：円)

科 目	金額
経常収益への振替額	
研究助成交付金	10,000,000
合計	10,000,000